

第69回 昭島市新春駅伝競走大会の結果

今大会は、6部門148チームが参加して1月7日(日)に行われました。中学生の部には、男子29チーム、女子23チームが参加しました。結果は下の表のとおりです。

【中学生男子の部】

順位	チーム名	記録(タイム)	メンバー
優勝	拝中 陸上部A	39分59秒	瀧澤、梶谷、半田、 上樂、大野
準優勝	多摩辺中A	40分00秒	浅沼、小山(源)、 宮本、小山(秀)、 奥山
3位	福島中 陸上部A	40分07秒	河原、高橋、後藤、 古屋、間中

【中学生女子の部】

順位	チーム名	記録(タイム)	メンバー
優勝	瑞雲 LIONS	46分24秒	胡桃沢、高橋、 溝口、山田、三池
準優勝	瑞雲中 陸上部A	46分25秒	高木、青田、高橋、 矢島、今泉
3位	スpegリ	49分41秒	川邊、齋藤、長谷、 米倉、朝日

☆詳しくは、スポーツ振興課へ

感想

感謝

山田 悠斗
(昭和中2年)

1月7日に僕は新春駅伝に参加した。そこで僕は多くのことを学んだ。

まずは、僕たちが駅伝に出場することを決めたときに遡る。顧問の先生から話があった時、僕は出場したいと思った。2年の部員たちに駅伝のことを伝えと僕を含めた3人は出場したいと言い、残りの3人は出場したくないと言った。部員の1人が出ようと押し切り、出場することが決まった。そしてみんなで頑張ることを誓った。

次は駅伝練習の時に遡る。一緒に出場する男子バスケットボール部と女子バスケットボール部、出場しない硬式テニス部と一緒に練習した。その時にサッカー部員たちは手を抜いて走っていた。僕はこのままで大丈夫なのかと不安になった。そして2回目の駅伝練習。今度はサッカー部だけで行った。みんなしっかり走っていた。いいタイムも出すことができた。これなら恥ずかしくない結果にできると思った。

駅伝当日。アップをして第1走者が走り始めた。オレンジチームの第1走者のチームメイトが5位で帰ってきた。すごく速かった。そしてついにアンカーの自分の番だ。走り始めた。観客の応援がすごく力になった。応援の偉大さを知った。結果は散々だったが、たくさんのことを学べたので良い経験になったと思う。

駅伝後たくさんの差し入れをもらった。地域の方々からだ。心のこもったパンやおにぎり、お茶はすごくおいしかった。心のこもった差し入れは僕の体や心に沁みだ。

駅伝は笑ったり、悔しい思いをしたりと色々な感情になったがそれもすべて良い経験になった。何より地域の方々の支えがあって色々なことができているのだと感謝の気持ちでいっぱいになった。本当にありがとうございました。

新春駅伝大会を経て感じた事

間中 健司
(福島中2年)

私は、今回の新春駅伝を通して色々な事を感じました。

一番凄と思ったのは、今回のレースは非常に接戦であったという事です。スタートから早速拝中、多摩辺中が前を走っていて私たちは、それについていくという形でした。4区切りまではずっと同じ順位でした。迎えた最終5区では拝中と多摩辺中が横に並んで走っていました。対して3位の私たちは前と約30秒という差でスタートしました。5区を走っていた自分はただ先頭においつくために必死に走っていました。折り返し地点に着いた時点で前との差は50メートルほどとちょっとずつ差を縮めていきました。ラスト200メートルという所でわずかに4秒差にまで追い詰める事ができました。しかし最後が下り坂という事もあったため先頭の2チームは最後の力を出してスパートをかけていました。自分もそれについていきたかったです。4秒の差もあり追い付く事はできませんでした。ですが非常にギリギリの戦いで自分も楽しく走る事ができました。

もう一つ感じたのは、部全体で強くなれたということです。もちろん練習の出来だけでなく練習への取り組み方や集中力も上がったと思います。最初はなかなかやる気のない人が多かったですが練習をかさねていく上で皆の駅伝に対する思いが変わっていき全員で質の良い練習ができました。それが結果で出ていると思います。

今年の駅伝大会は全員が成長できたすばらしい大会でした。駅伝は一人ではできない物なので必ず仲間が必要です。どうすれば勝つ事ができるのかといった一人一人の考え、力がやがてチームのためになると思います。来年の出場は難しいですが駅伝の楽しさを後輩にしっかり伝えておこうと思います。